ちいきのちから

［ちいきのちから］

JR大森駅近くにある「大森銀座商店街」のまんなかに、おいしいコーヒーが飲める「カフェパーチェ」がある。店内にあるドイツ製の焙煎機で毎日豆を自家焙煎する本格派だ。運営しているのは知的発達障がい者の就業と自立を応援しているNPO法人パーチェ。代表の藤好登美子さんとグランドチーフの相澤あゆみさんに、開店の経緯や今後の展望などお話をうかがった。

（取材・文=髙橋 陽子）

コーヒーの香りとみんなの笑顔が満ちあふれるカフェ

▼白を基調とした店内。笑顔のスタッフがいきいきと働く。

profile 024 NPO法人 パーチェ

感謝される仕事、それが生きる力になる

障がいのある子どもを持つ親は、自分が先にいなくなった場合など、子どもの将来に不安を抱えていることが多い。障がい者の多くは、特別支援学校などの学校を卒業すると授産施設や作業所などで作業をしたり、訓練を受けることになる。一般企業に就職するひとはまだごくわずか。多少の収入は得られるものの、自立し安定した生活を送ることはなかなか難しいのが実状だ。

代表の藤好さん自身も、知的障がい者のお子さんを育てながら、子どものような障がい者が訓練をしたり働く将来を案じ、もっと障がい者が地域に必要だと痛感していた親のひとりだった。約7年間、大田区役所内にある喫茶室「コスモ」（社会福祉法人大田幸陽会）で働く知的障がい者のサポートをしながら、接客の仕事を通じ子ども達が成長していく姿を見て、社会の中でこそ学べることが多いと感じた。「毎日違った人と会い、毎日同じことがない喫茶店の仕事には刺激がある。人から感謝されることで生きがいも感じられる。社会での学びが一番。子どもたちをいきいきと成長させると思うのよ」と藤好さん。

▲毎日店で焙煎する、豆の販売も好調。

06年4月、私財を投じ、賛同する仲間とともにNPO法人を設立、カフェを開店した。「パーチェ（PACE）」というイタリア語で「平和」を意味する。障がいのあるひともないひとも、ともに過ごせる地域の憩いの場にしたいという願いが込められている。

個性を活かし、学び合える場所がここにある

パーチェで働く障がい者は現在8人。接客はもちろん、調理や豆の販売など、開店準備から閉店作業すべてを分担作業で担う。障がいの種類や度合いはそれぞれ異なるので、各々の得手不得手を見極め、そのひとなりのカリキュラムを用意する必要があると藤好さんとともにそのカリキュラムを組みたて、スタッフの指導にあたるのは相澤さん。相澤さんもまた障がいのあるお子さんを持つ親として藤好さんと出会い、設立当初からパーチェを支える片腕である。「自分の能力を知るのはとても大事なこと。自立のためには、障がいがあるから…と家族や社会に甘えていてはいけないと、障がい者にも、障がい者の親にも強く言いたい。私自身も障がい者の親で、やはり子どもより先に安心して逝きたいから」と相澤さん。その厳しくも温かいまなざしに、この活動への並々ならぬ思いが伝わってくる。

▲いい香りが店内に漂う「パーチェブレンド」

もちろんお店のサービスにも甘えはない。煎りたての豆で淹れるコーヒー「パーチェブレンド」（¥300）は後味がすっきりしていて、さわやか。地元企業・チモトコーヒー（大田区池上4）で生豆から仕入れ、熟考を重ねたパーチェ自慢のオリジナルだ。

喫茶やランチとしての利用だけでなく、豆を目当てに遠方から買いにくる顧客も増えているという。「ベンツ1台分」という焙煎機を導入した藤好さんの英断が功を奏し、売上のおおきな柱となっている。

09年9月からは、障がい者の通所訓練事業として行政の支援を受けられるようになり、赤字ベースだった経営も少しずつ希望が見えてきた。「もっともっとカフェを知ってもらって、利用してもらわないとね」と相澤さん。2階はギャラリーやミーティングなどにも利用できるレンタルスペースになっており、これまでにも個展やミニコンサートなどが開催されてきた。淹れたてコーヒーのポットサービスがつくのも、パーチェならではの魅力だ。また、毎月第二土曜日には相澤さんが代表を務める「大田区発達障がい支援の会あか・しろ・きいろ」が、発達障がい児を持つ親御さんたちの相談窓口としての機能も果たしている。

コーヒーの香りに包まれながら、今日もいきいきと「いらっしゃいませ」の声が響く。まちのなかで、スタッフは厳しさの中にも喜びや感動をたくさん体験し、自立への確かな一歩を踏み出すに違いない。ここでしか体験できない学びがカフェパーチェにある。

読者プレゼント

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、ステキなプレゼントをお贈りします。

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で5名様に

1面特集もご覧ください

パティスリー・ティエテン特製 大森貝塚マドレーヌ 5個セット（1,160円相当）をプレゼント！

2010年6月10日当日消印有効。当選者の発表は、当選ハガキの発送をもって代えさせて頂きます。

ハガキかFAXで、必要事項もれなくご記入の上お送りください。当選の発表は発送をもってかえさえていただきます。

1. 第23号「大森まちづくりカフェ」をどちらで手に入れましたか？
□郵送　□お店・公共機関［店名：　　］
□知人から　□イベント［行事名：　　］
2. 第23号「大森まちづくりカフェ」の感想をお聞かせください
3. ズバリ!まちの喫茶店にあったらうれしいサービスは？
4. あなたが知りたいまちの情報は何ですか？

［お名前］　　［男・女］
［ご住所］〒
［　年代　］　才代［email］
［今後大森まちづくりカフェからのお知らせを］□希望する □希望しない

宛先：大森まちづくりカフェ プレゼント係
〒143-0024大田区中央4-4-16　FAX:03-5935-7881

※お寄せいただいた皆様の個人情報は企画者で厳重に管理し、当選のご連絡、また事前に許可を得た方に限りキャンペーン等のご連絡に使用させていただきます。

ちいきのたね 見つけた

目まぐるしく変わるまちの<今>を紹介。情報をお寄せください。
☎03-5935-7881

子育て世代へのエール
6/13 大田、7/9 品川

大田区・品川区両区で、子育て世代のためのイベントが相次いで開催される。子育を応援する企業や団体が大集合、子育てがもっと楽しくなる情報が盛りだくさん。家族総出で出かけよう!

★おおた子育てわいわいフェスタ2010
2010年6月13日（日）10時00分～16時00分
会場：エセナおおた（大田区大森北4-16-4）他
参加費：入場無料（有料イベントあり）
問合：事務局　TEL 03-6912-9540
（大田子育て家族応援ネットふぼれん内）
http://www.kodomokosodate.net/

★第3回品川子育てメッセ2010
2010年7月9日（金）10時00分～16時00分
会場：きゅりあん（品川区東大井5-18-1）
参加費：入場無料（有料イベントあり）
問合：事務局　TEL 03-3471-8610
（NPO法人ふれあいの家―おばちゃんち内）
http://www.s-messe.com/

3面のご案内

むすびつき

地域をベースに活動を展開する団体に注目。活動に携わるひとたちの思いに迫ります。参考にしたいステキな活動であれば、その範囲は大森にとどまりません。「地域のちから」ここにあり！

バックナンバーはウェブで！
22号 ○ 2010年1月
NPO法人チルドリン
［ママの力を社会に活かすしくみづくり］
21号 ○ 2009年10月
大田北高齢者見守りネットワークをつくる会
［地域を潤す福祉のプロ集団］
20号 ● 2009年7月
NPO法人おおた市民活動推進機構
［市民の力で社会貢献事業を支える］
19号 ● 2009年4月
NPO法人みんなの家
［障がい児者の地域での居場所づくり支援］

www.oomori-cafe.com

NPO法人 大森コラボレーション
おいでよ！ 大田区区民活動支援施設
こらぼ大森
大田区大森西2-16-2
イベントに関するお問い合わせは…
大森コラボレーション
TEL 03-5753-7884
最新情報はホームページ！ こらぼ大森 検索
http://homepage2.nifty.com/colabo-ohmori/
わたしたちは「大森まちづくりカフェ」を応援しています

Kobayashi DENTAL CLINIC
シカさんも大森まちづくりカフェを応援しています
ホームページも見てね！ しかのはいしゃ 検索
http://shikanohaisha.com/
医療法人社団 裕歯会
小林デンタルクリニック
歯科医師/小林 裕明
大田区大森北4-22-18 明善幼稚園向かい
TEL 03-3768-0648
受付時間 9:30～12:30 14:30～18:30 休 土日祝
保険医療取扱
はいしゃ

杉田浩二税理士事務所
税理士 杉田 浩二
〒140-0004 最寄駅 京急青物横丁駅
東京都品川区南品川4-15-5-503号
TEL：(03)5460-5529 FAX：(03)5460-6393
E-mail：info@sugita-k.net
URL：http://www.sugita-k.net/
相続税

銀座ブロード法律事務所
多彩なニーズに迅速にお応えします
弁護士 堀 廣士
弁護士 山岸宏彰
弁護士 佐賀 豪
大森より抜群のアクセス
〒104-0061 東京都中央区銀座1-4-9 第一田村ビル5階（有楽町駅歩3分）
TEL 03-3564-0173